

岩手教区報

第370号
 立教186年10月1日
 天理教岩手教務支庁
 盛岡市馬場町3-40
 TEL 019-622-7962
 FAX 019-623-9597



昨年4月に教区青年会委員長を拝命し、1年半が経とうとしております。教区管内の皆様には、日頃から青年会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

来月11月25日(土) 11時から、本部中庭に於いて「第97回天理教青年会総会」が開催されます。コロナ禍以来、人数等の制限をもたない4年ぶりの通常開催となります。これまで、10月の秋季大祭後の開催が恒例でありましたが、より多くの会員がおちばに帰り、総会に参加していただきたいとの本会の思いから、今回は曜日を土曜日に合わせて、11月の開催となりました。関連行事として、25日午後からお話フェスティバル、フットサル大会、夕づとめ後に東西泉水プール前広場にて模擬店も催されます。

教区青年会では、青年会層を対象にバス団参を計画しています。コロナ禍のため、なかなか帰る事が出来なかつた方は勿論の事、おちばから足が遠のいている方やたすかかって頂きたい方など、教祖140年祭三年千日の1年目の青年会総会という絶好の機会に、是非とも多くの青年会員と共に、おちばへ帰らせて頂きたいと思っております。



おちばに帰ろう

青年会委員長 村松義朗



教区青年会委員長の任を戴いてから、ありがたい事におちばがえりさせて頂く機会が増えました。以前は年に1、2回程でしたが、仕事の繁忙期以外はほぼ毎月帰参しています。拝命前は、費用や期間の事を考えてしまい、正直なところ、大変だなあと思っております。おちばに帰らせて頂く度に、勇み心や自らのたすかりを頂戴している事に気づいたのです。思い返してみれば、以前修養科や青年会ひのきしん隊に入隊した時も、おちばでゆっくりしたいなと思つた事が動機の一つでした。

皆さんは理由は何であれ、一度はおちばに帰られた事があると思います。それぞれに様々な事を感じたと思いますが、教祖の親心、神殿や詰所で温かく出迎えて下さる方々の心遣いなど、たくさんの「心」をいただいて、地元に戻られたことと思います。

岩手は、地理的におちばから約千キロの道のりがあります。決して近くはありません。しかしそれは国内に限っての事で、海外にまで視野を広げたら、逆の事が言えると思います。おちばはたすかる所です。青年会総会当日は、岩手にゆかりある方々とおちばで会える事を楽しみにしております。



今泉邦江 (盛岡支部・北園分)

私は室蘭で生まれ、祖父が教会の初代会長で父がその布教所長でした。結婚して転勤族となり、関東から東北を転々とし、娘は盛岡の小学校が5校目でした。岩手に越してきて18年。単身赴任の時期もありましたが、現在は夫、母、息子、娘と暮らす日々です。

ある日、息子の障害と病を知ることになりました。最初は統合失調症と診断されました。これからどうなるのだろうと、先の見えない不安で心が押しつぶされそうになり、頭が混乱するなか、この子をどう支えたら良いのだろうかと悩み、日を追うごとに深い絶望的な気持ちになり、将来を悲観し息子も私も生きる力を失っていききました。

今から3年前、私は修養科を志願しました。教会へのご恩報じと息子の病の事からです。人生のどん底にいた私が這い上がる事ができたのは、おさづけを拝

戴した時でした。本当に不思議で私の周りの空気が温かくなって包みこまれるような感覚でした。そして、生きる力が湧き上がってきて、心の向きが変わる大きな守護を頂けたのです。

「人間の身体は神様からのかりもので、心一つが自由に使える。教えの台であるかしのかりものの理、ここをしつかり心に治めなければ、せつかくの信仰が台無しになる」と修養科で聞かせて頂き、とても深く心が動きました。

当時は息子をたすけたい一心でただまっしぐらに信仰の道に走る日々で、願いばかりが先に立ち、自分勝手な信仰になつていたと気付きました。今は、私を母親にしてくれた息子に「親孝行をしてくれてありがとう」と喜びと感謝を感じる日々です。

うかは自分の心で決めるものです。私の心の転機は、当たり前が当たり前ではないと気付いた時です。身内の身上や事情を頂いて、神様を信じて日々感謝の心で通ることの有難さに気付きました。

婦人会創立110周年「会員決起の集い」感話
 於教務支庁(令和1年9月1日)

教務支庁剪定ひのきしん
 日時 10月16日(月) 10時~17日
 内容 庭木の剪定、中庭の清掃
 ※14日までに各支部の参加人数を教務支庁へご連絡ください。

行事予定 【10月分】

- 1日 役員会(10時)
 - 7日 学生担当委員会例会  (19時30分)
 - 14日 青年会例会(19時)
 - 16日 剪定ひのきしん(10時~17日)
 - 17日 女子青年例会  (10時)
 - 21日 婦人会後継者勉強会(10時)
 - 28日 婦人会例会(後継者勉強会後)
 - 29日 少年会例会(10時)
- おつとめ総会(10時)

教祖140年祭「ようぼく一斉活動日」

とともに歩もう ひながたを胸に

教祖140年祭に向かう三年千日、同じ地域に住むようぼくが互いに励まし勇ませ合って、それぞれの教会や個人の年祭活動の更なる実践につなげるため、教会本部主催にて、支部毎に計5回開催します。多くのようぼく信者の皆さんのご参加を願います。

第一回「ようぼく一斉活動日」

開催日 12月2日(土)

主催 教会本部

内容 おつとめ、諭達拝読、教会本部ビデオメッセージ、ビデオ講話他。

会場 九戸支部 種市港分教会 13時

二戸支部 荒澤分教会 10時

盛岡支部 教務支庁 9時45分

三陸支部 花宮古分教会 10時

花巻支部 花巻分教会 13時

奥州支部 岩栄原分教会 10時

県南支部 千厩分教会 13時

※詳細は教区布教部又は各支部長まで。また、案内チラシも併せてご覧下さい。



厚生部

「福祉セミナー」報告



梅原啓次先生

8月29日(火)、教務支庁を会場に、教区主催の「福祉セミナー」を実施し、25人が参加した。

午前は、「里親啓蒙研修会」として、講師に天理教里親連盟委員長梅原啓次先生をお招きした。まず、里親をされている教会の活動の様子や里子として育てられた方の体験談をまとめた里親啓蒙ビデオを視聴。次に梅原先生の里親の活動をもとに講義され、現代の子供をめぐる家庭環境や、信仰実践としての里親活動を述べ、理解を深めた。また、里親連盟の沿革や活動を紹介され、創立40周年に向けて里親登録千五百家庭を目指していることを話され、広く里親の登録を呼びかけられた。

講義後、滝浦剛陵實分教会長が養育里親としての自らの体験を発表。滝浦氏は、「里親をはじめ、様々な苦労があったが、子供を育てさせて頂く喜びにまさるものはなく、里子を通して私たち夫婦



も成人させて頂いたと実感している」と語った。
午後は、認知症サポーター養成講座を開催。認知症の人と家族の会岩手県支部世話人蛇石陽氏と岩手県高齢者総合支援センター支援相談員日蔭紗貴氏をコーディネーターとして迎えた。
まず認知症の事例DVD視聴。その後、認知症の基礎知識、認知症の予防、認知症の人・家族への支援について、参加者一人ひとりと向きあってお話し下され、さらに認知症サポーターと認知症の人と家族の会の説明があった。
また質疑応答では、参加者が個別に抱える悩みに適切にお答えいただいた。最後に認知症の方々に支援する目印である「オレンジリング」が全員に配られた。



婦人会

「後継者勉強会」【10月21日】

教区婦人会は、10月21日(土)午前10時から教務支庁に於いて、「後継者勉強会」を開催します。ぜひ多くの婦人会後継者の方々にご受講下さいませよう、お願いします。

記

日時 10月21日(土) 10時～14時

会場 教務支庁

内容 生け花勉強会、親睦行事他
参加費 1000円(昼食代含む)
※詳細は鈴木真喜婦人会主任まで。



少年会

「第50回少年会岩手教区団

おつとめ総会」【10月29日】

少年会岩手教区団は、10月29日(日)午

前10時から教務支庁に於いて、「第50回少年会岩手教区団おつとめ総会」を開催します。
第50回というまたとない節目の総会で、各支部から大勢の少年会員、育成会員のご参加をお願いします。

記

日時 10月29日(日) 10時

会場 教務支庁

内容 十二下りおつとめ、式典、アトラクション

役割 祭儀式 中学生
座りづとめ 教区役員、
少年会委員

よろづよ八首 中学生

一、二下り目 県南支部

三、四下り目 奥州支部

五、六下り目 花巻支部

七、八下り目 三陸支部

九、十下り目 盛岡支部

十一、十二下り目 二戸・九戸支部

※詳しくは佐野喜与志少年会団長又は各支部育成委員長まで。
※準備の都合上、10月20日迄に参加人数を支部育成委員長にお知らせください。



道の教職員の集い

「陽気フォーラム」【11月5日】

道の教職員の集いは、11月5日(日)午前10時から教務支庁に於いて、「こども食堂を通じた、今できるおたすけ」をテーマに、福島教区道の教職員の集い代表世話人・齊藤元康先生(いなわしろ地域食堂まんまる運営者)を講師に迎え、本年度の「陽気フォーラム」を開催します。

こども食堂の立ち上げ方、地域や行政とのつながり、こども食堂を通じた出会いなどの内容をお話頂く予定です。多数ご参加くださいませようお願いします。

記

日時 11月5日(日) 10時～14時

会場 教務支庁

テーマ 「こども食堂を通じた、今できるおたすけ」

講師 齊藤元康氏(福島大学非常勤講師、猪苗代分教会後継者)

参加費 500円(昼食代含む)

※配布する案内チラシをご覧ください。